

# 第36号 NPO 法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

Newsletter 2025（令和7）年4月8日 発行



## のばす会・ネットワーク便り

本部事務局 〒475-0817 愛知県半田市東洋町 1-8 アイプラザ半田 109, 110 号室  
☎ 080-1622-5717

E-mail nobasukai1993@gmail.com

web <http://www.f-school.jp/nobasukai/>

代表理事 村瀬 明子



## 講演会・「居場所でパワーアップしよう」2025. 1. 26

代表理事 村瀬 明子



昨年度、のばす会は30周年を迎えることができました。のばす会が活動してきたこの30年の間に見えてきたことがありました。それは、「学校以外でも子どもたちが安心して過ごせる場所があれば、子ども達は元気を取り戻し、自らその一歩を歩き始める。」ということでした。この居場所の力についてもう少しほりさげて考えたいと思い、本年度は、日

本福祉大学教授の野尻紀恵氏と同大学教授の江村和彦氏をお招きし、この講演会を企画しました。（なお、当日体調不良のため野尻教授が欠席であったことは残念でした。）

江村教授は造形分野の立場から、「アートの世界はあいまいであり、これだという正解はない。正解は、自分で見つけるものであり、一人ひとりが正解を持っている。これは、子どもの世界ととても似ている。未完成で不完全な面白さを受け入れることが『居場所』につながっているのではないか。」と話されました。

日本福祉大学学生3名を含めたトークセッションでは、不登校や引きこもりを経験した学生たちの話を聞くことができました。その中で、居場所につながるキーワードが多く語られていました。「家族以外の人と出会うことによって社会とのつながりが持てた。」「人から『ありがとう』と言われたことが嬉しかった。」「楽しいなと思ったことが動き出すきっかけになった。」「やりたいことがあったので勉強を始めた。」等です。

心と身体を十分に休めることのできる場所（居場所）があること、動き出すためには、時間と周りの大人の手助けが必要なこと... 学びの多い講演会でした。

## フリースクールは今

木曜日は14時半までがフリースクール、17時までが学習支援の時間になっています。コロナ以前は学生さんが来て、子供たちと遊んだり勉強を一緒にしてくれていましたが、今は参加学生もいない為、スタッフに勉強を教えてもらったり各々好きな事をして過ごしています。毎週卓球もあり月に一度のアニマルセラピーの日は大忙しです。最近は会員以外の参加者も増えて来ました。6頭以上の犬たちとボランティアスタッフの方々が来てくれます。残念ながら猫2匹は昨年相次いで亡くなり、現在セラピー猫はいません。犬たちも代替わりしつつありますがふれあいによって癒しの時間をいただいています。そんなわけで木曜日は1日中出入りの多い賑やかな日となっています。1月から中学生や高校生などを対象に塾の先生に学習支援をしてもらっています。この機会に少し学習したい人や高校の学習を教えてもらいたい人はぜひ4時30分までですが、参加してください。

スタッフ 新村 由美子



## お茶会

スタッフ 榊原 紀美子



アイプラザ半田の和室で抹茶をいただきました。12月5日でしたので釜は昼の中にある炉にかけてあり和服の榊原知子先生のお点前でした。おいしいお菓子とともにいただきます。初めての経験の子どもたちや久しぶりにいただく大人などそれぞれです。キョロキョロして隣を見ていると「お好きに飲んでね」と声をかけていただきます。私は足を痛めているので正座ができず準備していただいたイスに腰かけます。床の間の掛け軸や花、入口の外の花も先生の心づくしです。自分でお茶を点てたい人にはやさしく教えてくださるので喜んでやる子もいます。一年に一度のお茶会でした

## 冬休み寺子屋の様子

スタッフ 伊藤 里香

昨年冬休みの3日間開催した寺子屋には、小学生12名、中学生4名、高校生6名、計22名の参加がありました。今回の寺子屋は、初めて参加してくれた小学生が多く、いつも参加している子ども達の遊びや関わり方にも良い刺激となっていました。

今回、市民活動団体のインクルーシブダーツクラブに依頼し、軽運動室でダーツ体験をしました。インクルーシブダーツは、世代や障がいの有無を問わず、どんな人も楽しめるダーツで、子ども達はもちろん、スタッフも一緒に体験しました。投げ方やルール、ゲーム方法など教えてもらい、みんな興味深く時間いっぱい体験することが出来ました。インクルーシブダーツクラブの皆さん、お忙しい中、本当にありがとうございました。

このように寺子屋では、地域の皆さんが、日頃されている趣味や得意なことなどを子ども達に見せてもらったり、体験させて頂けたら嬉しいです。どうぞ、こんなことは？ということがあれば、ぜひ、のばす会までご連絡ください。子ども達と一緒に過ごしませんか？



## なぜ人にとって「居場所」が必要なのか？

臨床心理士 米村 高穂

さる1月26日、のばす会主催によるトークセッション『居場所でパワーアップしよう』が開催されました。「居場所」について、皆さんも色々なことを考えたのではないのでしょうか？

私たちは赤ちゃんの時は、基本的には何かをしなくても周囲が満たしてくれる環境にあります。それが大人になっていくと、自分や周囲を満たすために何かをしなければいけなくなります。つまり、乳幼児期は、「いる」だけで周囲の大人によって満たされているわけですが、大人になっていくにつれて自分で「行動する」ことが必要になっていきます。これがいわゆる成長、自立・自律なわけです。そのため、私たちは、ただ「いる」だけでいることを軽視しがちで、何かを「する」ことばかりに目がいきがちです。このような認識が我々の潜在意識にはあるでしょう。無理ありません。例えば仕事等、何かを「する」ことで、私たちは何らかの対価を得て生きているわけですから。だから、ただ「いる」だけで何もしていないと「怠けだ!」と批判するのです。しかし、大人になったからと言って、乳幼児期のように「いる」だけで満たされる空間が必要なくなるのでしょうか？人は、自分の信頼できる人や場所、趣味など、様々なものと繋がっていて、自分なりの安心できる空間をもっています。つまり、居場所とは、ただ「いる」だけが許容され、何かを「する」ことが要求・強制される場ではないということです。その「いる」だけが許容されて自分の存在が認められることで、人は初めて「何かをしよう」という意欲がほんのり湧いてくるのでしょうか。大人になったから必要なくなるのではなく、大人になってもそのようなものに支えられながら生きています。大人でも「自分はここにいてもいい」と思える配慮を周りがしてくれると、やはり仕事のやる気が出るものです。そして、そのような配慮は空気のように見えないものです。のばす会が大切にしているのも、このような「いるだけでもいい」という体験なのだと思います。皆さんにとって、そのように思える場を是非大切にしてみてください。





## 卒業・修了おめでとう

- この1年よく頑張りました -

3月22日学校関係者も迎えて、参加者31名で卒業・修了を祝う会を開催しました。この1年間、頑張ったことなど代表理事が一言ずつお祝いの言葉をかけ、みんなが書いてくれた色紙を手渡しました。懇談会では参加者や保護者からのお礼の言葉があり、居場所として取り組んできたことが評価されたと思いました。

### 「卒業・修了によせて」

代表理事 村瀬 明子

卒業・修了おめでとうございます。

人生には、数々の節目があります。誕生、入学、卒業、結婚、等等。時間的には、日常生活の連続なのですが、この節目を通過することによって、私たちは、新しいステージへと心新たに出発する機会を与えられています。つまり、節目ごとに立ち止まり自分を見つめなおすことになるのです。いろいろな思いがあるでしょう。失敗したこと、褒められたこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、・・・それらの過去をきっぱりと断ち切ってもいいし、過去から学んでもいいのです。立ち止まって、そして、心新たになった新しい自分が出発するのです。これが、人生の節目の役割だと思います。

今、あなたたちは新しい一歩へと踏み出そうとしています。そういうあなたたちをのばす会のスタッフ一同、心から誇りに思いますし、応援してよかったと思います。多くの大人たちは、何度も失敗を経験しています。けれども周りの人たちに助けられながら、立ち上がり、今日まで歩んできました。だからこそ、大人たちは、子どもたちに伝えられるのです。

「だいじょうぶだよ。新しい道は必ず切り開ける。」

あなたたちには未来があります。さあ、歩き出しましょう。」



## 居 場 所

中学卒業生 中村 公星

僕は、2年生からフリースクールに通い始めました。最初は乗り気ではありませんでしたが、大人の皆さまの温かい笑顔に迎えられる度に行くのがますます楽しくなっていました。学校とは別の道があることを知れて良かったと同時に感謝しています。何かが起こる度、笑ってくれる皆と過ごした日々の中には沢山の思い出があります。その思い出のおかげで僕は高校でも頑張ることができます。勿論疲れた時は頼らせてもらい、時間があるときは遊びに行かせてもらいます。



思い返すといろいろな思い出が溢れてきます。楽しかった思い出も、少し悩んだ事も、大富豪に付き合ってもらったことも、ここで出来た友人との交流は大切にしていきたいです。そしてこれからも僕の居場所です。



## 楽しかったのばす会

6年卒業生

トランプや卓球など楽しいことがたくさんありました。ありがとうございました。

## 卒 業

卒業生保護者

元々学校が大好きな子が、先生や友達に恵まれなくて、学校に行けなくなりました。すっかり自信を無くし、落ち込んでいた所に、のばす会の存在を知り、通わせていただく事になりました。

始めは戸惑っていた娘も、優しく接して下さる先生やスタッフの方々に囲まれて、少しずつ落ち着いてきました。みんなでトランプや卓球、アニマルセラピーや寺子屋など、「楽しかった!」と笑顔で話してくれるようになり、のばす会に出会えて本当に良かったと思います。中学校では、友達を作って友達と一緒に勉強を頑張りたいと、今から楽しみにしています。一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 外の世界へ！ウイングセラピー

スタッフ 赤松 由隆

2月4日(火)13時30分から有志の会御鷹組代表中井雄二さんによるウイングセラピーを中庭で行いました。この日を楽しみにしていた子どもたちや大人が15人ばかり集まって鷹とフクロウの餌付けを見学しました。その後鷹を屋根や枝に放ち、鷹は笛の合図でグローブをつけた子どもの左手目がけて飛んできました。鷹の重さを感じたり、目を背けながらもしっかりと受け止めたり、また、フクロウの重さや目の大きさや首の回り方など観察して、それぞれの子が自分たちなりの受け止め方をしていました。年間2回の開催ですが、家の中ばかりでなく、興味のあることで外とのつながりを少しでも持てたらと思います。

## JA あいち知多女性部半田地域様よりご寄付をいただきました。

今年もJA あいち知多女性部半田地域の方々からご寄付をいただきました。2月15日のばす会で部長の岩橋富子様、藤戸恵子様に参加して贈呈式を行いました。部員の皆様のご厚意を大切に、のばす会のために使わせていただきます。



## 総会のご案内

のばす会の総会を5月10日(土)13時からアイプラザ半田第1会議室で行います。会員の皆様には後日ご案内を郵送させていただきます。ご出席できない場合は委任状をご提出ください。総会での事業報告や活動計算書などの決議内容は6月に日本財団のCANPANのホームページに掲載予定ですので、ご覧ください。

## 今後の予定と活動

のばす会の始業と終業 始業：令和7年4月8日(火) 1学期 終業：7月18日(金)  
のばす会総会 5月10日(土)13:00～ アイプラザ半田 第1会議室  
夏休み寺子屋 7月下旬、8月中旬  
夏休み補習 8月上旬



## ご協力ありがとうございました。皆様の志が子どもたちの未来へとつながります。

＜寄付者の皆さま＞ 令和6年12月～令和7年3月(掲載可の方々です) 順不同 敬称略  
西川理恵、松本涼子、福島富美、黒木伊津子、九澤郁子、村上眞喜子、山田ゆき、石川まさ恵、渡辺康一郎  
稲垣豊、二川義峰、山内睦代、鈴木郁夫、由里宗之、藤井美月、稲生俊彦  
＜ろうきん寄付システムの皆様＞ ＊毎月のご寄付ありがとうございます。  
＜団体寄付の皆様＞ ホテルやごべい(坂口いつき)  
＜高額寄付の皆様＞ 笹井孝介、JA あいち知多女性部半田地域、石黒雄大  
＜助成金＞ 子どもの学習・生活支援事業(冬休み寺子屋半田市)、男女共同参画社会推進補助金(半田市)  
＜物品の寄付＞ 森のピアノ等の漫画、本、手作りカップケーキ、ミカン、バームクーヘンなどのお菓子、お土産、アイロンビーズなどの玩具、ノートなどの文具、など多くの方からのご寄付ありがとうございました。  
＜書き損じハガキ・未使用切手のご寄付の皆様＞ 匿名3名  
相談に来られた方や過去在籍された方の通信費に使わせていただきます。  
＜こどもサポート証券ネットによる支援物資＞  
・楽天証券KK(お米5キロ1袋)

皆さんの寄付でのばす会は成り立っています。ご支援ください。  
年会費・寄付金の振込先 ☐ 年会費 2,000 円 ☐ 寄付金 1 口 1,000 円から

- ①知多信用金庫 美原支店 口座番号 普通 2102161  
名義：特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのばすネットワーク  
②東海労働金庫 半田支店 口座番号 普通 4500549

名義：特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのばすネットワーク  
代表理事 村瀬明子

- ③ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00810-9-154412  
加入名：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力

## スタッフ募集！

一緒に学習したり、遊んだりして、寄り添ってくれる人 週に1回でもかまいません。詳しくは下記までご連絡ください。

連絡先

080-1622-5717